



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

文化観光を活かしたまちづくり
官民連携による地域づくり

是永 幹夫

(これなが みきお)

(株)地域創発機構 最高顧問



○ 登録者情報

所在地

神奈川県横浜市

略歴

慶応義塾大学文学部卒業。同修士課程中退。

株式会社わらび座(1975年9月～2012年3月)

編集部、国際部、制作部、全国公演営業部、劇団代表と37年間の在任期間に、日本列島各地の地域文化資源を活かした民俗芸能の新たな展開、地域発信・地域連携型のオリジナル・ミュージカル創造と全国展開の推進エンジンとして奔走。代表舞台作品は「アテルイ」「棟方志功」「銀河鉄道の夜」「火の鳥 鳳凰編」「アトム 未来編」「おもひでぼろぼろ」「菜の花の沖」等。

海外公演も文化庁、国際交流基金、万博基金等の支援で、欧米、北米、南米、アジア各国巡回。構想企画段階から推進エンジンとして深く関与した「芸術村」は現在も秋田県の宝として愛されている。

NHK東北地方番組審議会委員(2010-2012年度)、国民文化祭あきた基本構想策定委員(2011年度)、秋田県総合政策審議会委員(2002-2006年度 交流・人づくり部会副部長)等歴任。

文化庁「文化芸術創造都市のネットワークの在り方調査研究会」委員(2011年度)

文化庁「国立文化施設のパブリックレゾナンス機能向上調査研究会」委員(2012年度)

文化庁「文化芸術創造都市モデル事業 仙北市実行委員会」事務局長(2010-2012年度)

大分市複合文化交流施設「ホルトホール大分」開設準備、開館初代館長・総合プロデューサー

(2012年4月～2023年3月) 文化共創・情報交流の拠点としてプロデュース。

併せて竹田市、佐伯市、延岡市の新設劇場の管理運営基本計画及び設計プロポーザル選考委員。

大分県竹田市に拠点を置くDRUM TAOのTAO文化振興財団の代表理事としてDRUM TAO

の地域性と公共性を強化する役割を担当。OBS大分放送番組審議会副委員長。

文化庁AFF(Art for the Future)事業中間事務団体選考委員(2021年度)

文化庁 伝統文化修理新調・デジタル発信支援事業中間事務団体選考技術委員(2021-2022年度)

CORE合同会社設立(2023年度)

著書・論文等

【著書】

『創造農村～過疎をクリエイティブに生きる戦略～』(2014年 佐々木雅幸/編著 学芸出版社)

の第7章「伝統芸能の現代的再生と「3.11」の意味」を執筆

『協同組合で働くこと』(1987年 芝田進午/編著 労働旬報社) 第4章「文化協同組合づくりへの道」を執筆

【企画した出版物】

岩波ジュニア新書『わらび座修学旅行』(1987年 及川和男 著)

岩波ブックレット『寅さんの教育論』(1982年 山田洋次 著)岩波ブックレット『戦争と短歌』(1991年 近藤芳美 著)

岩波ブックレット『恐ろしい時代の幕あけ—ドラマと人間』(1991年 早坂 暁 著)

岩波ブックレット『ブックレットのぶっくれつ』(1991年)

『文化と伝統を語る 原太郎対談集』(1987年 大月書店)

加藤周一、木下順二、宇野重吉、山田洋次、岸恵子、ジェームス三木等各氏と原太郎氏との対談集

『イタリア文化運動通信 ARCI・市民の担う文化プログラム』(1984年 佐藤 一子 合同出版)

【雑誌掲載論考】

「青丘学術論集」第3集「慶念『朝鮮日々記』の研究」(1993年)

「三田評論」(慶應義塾 広報部)2006年11月号巻頭随筆「私の原点」

季刊「文化経済学」100号「私の文化経済学履歴書」(2018年6月)

○ 文化観光を活かしたまちづくり 官民連携による地域づくり

取組の内容

大分県と秋田県を拠点に、地域拠点劇場建設・管理運営・設計支援、まちづくり・地域づくりに取り組んでいます。

地域発信・地域連携の舞台芸術制作の専門家として、公共文化施設新設や改修支援や芸術村づくりにおける計画策定や発注者支援をおこない、地域課題に向き合い、地域づくりや地域ブランディングにも取り組んでいます。特に文化観光を活用したまちづくりや官民連携・地域連携を活かした地域づくりに強みを持っています。領域横断的に立体的・重層的なプロジェクト構築や人脈形成力に長けています。

民間活力導入型の公共文化施設の展開においても「市民協働」を基軸にした運営システム構築を心がけ、市民に愛される公共文化施設づくり、地域の文化的コモンズになりうる施設づくりに注力しています。その結果、交流人口・回遊人口の増加を創出しています。

ふるさと大分市の都市計画策定や中心市街地活性化のビジョン&フォローアップや、大分県の国民文化祭、東アジア文化都市、障がい者芸術文化支援、大分県内の文化芸術団体の活動支援、次世代の制作者グループ育成に取り組んでいます。

近畿、東海地域での公共施設のにぎわい創出計画の策定支援もおこない、市民の開かれた公共施設のあり方を実践しています。また「二拠点・移住」促進の取り組みも新しいネットワークで2023年度からスタートし、(一社)移住・交流推進機構とも連携して推進しています。



全国随一の複合文化交流施設
ホルトホール大分



世界に冠たる天空劇場
TAOの丘

実績

2011年-2012年:文化庁「文化芸術創造都市ネットワークのあり方検討委員会委員
2012年-2013年:文化庁「国立文化施設のパブリックリレーションズ機能向上検討委員会委員
2013年:竹田市総合文化ホール管理運営基本計画&設計プロポーザル選考委員
2013年~:OBS大分放送番組審議会副委員長
2013年-2014年:大分市中心市街地シティプロモーション選考委員
2016年-2023年:大分市都心まちづくり会議委員
2016年-2023年:大分市中央地域ビジョン&フォローアップ会議委員
2017年:さいき城山桜ホール管理運営計画&設計プロポーザル選考委員
2018年:延岡市 野口遵記念館管理運営基本計画&設計プロポーザル選考委員
2018年:第33回国民文化祭おおいた実行委員会委員
2019年~:TAO文化振興財団代表理事
2020年-2023年:文化庁「アートキャラバン地域連携事業」大分県総合プロデューサー(他6県支援)
2022年:日中韓3カ国共同開催 東アジア文化都市大分県実行員会委員
2023年-2025年:大分県新長期総合計画策定県民会議委員

工夫した点や苦勞した点

地域総体の合意形成や事業プロジェクトにあたり、「聞く力」に徹し、編集力とファシリテート力の向上に努めてきました。データも含めてエビデンスづくりに注力し、合意形成がしやすい環境づくりを心がけています。長年の実践のなかで培ってきた各界各層の多彩な人脈ネットワークを出来る限り引き渡していきたいと考えています。
地域創生で危機意識のある自治体の方々と、領域横断的な取り組みを希求しています。

ひとことPR

「足元を掘れ、そこに泉が湧く」をモットーに一貫して地域発信・地域連携を促進してきました。列島中の豊饒な地域文化と暮らしの親和性をベースに、地域の文化的資源を舞台化し、全国展開を実践し、各地の拠点ホールが地域の文化的コモンズになるようにサポートしてきました。産官学民協働の上に「市民力」をどう発揮していくのか、文化観光プロデュース、アートヴィレッジ運営、公共文化施設の建設・改修・運営、次世代への人材育成を通して「輝く地域づくり」をこれからも続けていきます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

TAO文化振興財団	http://tao-zaidan.com/
総務省ホームページ	https://www.soumu.go.jp/index.html
地域人材ネット	https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/

連絡先

メールアドレス	ko1946ko7ko19〔アットマーク〕gmail.com		
---------	--------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。